

超音波探傷試験 III 問題集 2019 正誤表 (Ver. 3)

2022 年 8 月 8 日

頁	章	行, 問題番号	誤	正
54	2	問 2.5.1	c) 音軸上に小さいきずがあるときのエコー高さの距離特性は, 振動子の音軸上の音圧の距離特性の 2 乗に比例する。	c) 音軸上に小さいきずがあるときのエコー高さの距離特性は, 振動子の音軸上の音圧の距離特性に比例する。
65	3	問 3.1.5	本文 2 行目 ・・・探触子を用いて, 水浸法で探傷する・・・	・・・探触子を用いて, 全没水浸法で探傷する・・・
99	3	問 3.3.36	a) UOE 鋼管の溶接部に発生するきずには, 割れ, 溶込み不良, ブローホール, スラグ巻き込みがある。	a) UOE 鋼管の溶接部に発生するきずには, 割れ, 溶込み不良, ブローホール, タングステン巻き込みがある。
107	3	問 3.3.11	3.3.11 [3] b	3.3.11 [3] a
109	3	問 3.3.32	3.3.32 a	3.3.32 d
109	3	問 3.3.36	3.3.36 a	3.3.36 c
111	4	問 4.1.4	d) 振動子材料として水晶があるが, 感度が低いため超音波探傷には用いられていない。	d) 振動子材料として水晶があるが, 感度が低いため超音波探傷にはほとんど用いられていない。
161	7	問 7.4.1	問題文 次の文は, JIS G 0801 に基づいて行った板厚 25 mm, 大きさ 1.8 m × 5.4 m の鋼板の内部の探傷結果の合否判定について述べたものである。正しいものを一つ選び, 記号で答えよ。	次の文は, JIS G 0801 に基づいて行った板厚 25 mm, 大きさ 1.8 m × 5.4 m の鋼板の内部の探傷結果の合否判定について述べたものである。正しいものを一つ選び, 記号で答えよ。ただし, 探傷における走査区分は BL 形とする。
167	8	問 8.2.1	a) 定期点検は, 超音波探傷器の所定の性能が維持されていることを確認するために, 1 年に 1 回以上定期的に実施する点検である。 b) 定期点検は, 超音波探傷器の所定の性能が維持されていることを確認するために, 6 か月に 1 回以上定期的に実施する点検である。	a) 定期点検は, 超音波探傷器の所定の性能が維持されていることを確認するために, 点検を行った日の翌月の 1 日から起算して 12 か月ごとに定期的に実施する点検である。 b) 定期点検は, 超音波探傷器の所定の性能が維持されていることを確認するために, 点検を行った日の翌月の 1 日から起算して 6 か月ごとに定期的に実施する点検である。